

セイコー・アルバ・ワイアード ウォッチカタログ

2005 別冊

バンドについて

●皮革バンド・その他バンドについて

SEIKO

ALBA



WIRED

●皮革バンド・その他バンドについて

記号表示

記号	材質
CA	牛皮革（カーフ）
G	合成皮革
N	ナイロン
PP	ポリプロピレン
U	ポリウレタン

①アクアフリーバンドについて

革バンドの耐水性一覧表

革バンドの耐水性には、以下のような違いがあります。

種類		一般革バンド	アクアフリー1種	アクアフリー2種
使用例	日常生活で水がかかる。(洗顔・雨にぬれる等)	×	○	○
	水仕事に使用できる。(農水産・園芸・ガソリンスタンド等)	×	○	○
	水泳に使用できる。(ヨット・ボート等) ※1	×	×	○
日常のお手入れ	乾いた布で拭く	○	○	○
	おしぼりで拭く※2	×	○	○
	真水でさっと洗う※3	×	○	○
	石鹸を使って洗う※4	×	×	○
表記	バンド裏面	表示なし	AQUA FREE-1	AQUA FREE-2
	プライスタグ等	表示なし	アクアフリー	

※1 バンドには天然素材を使用していますので、ダイビングや水上スキーなど水圧がかかる場合ではご使用にならないでください。

※2 市販のウェットティッシュの類にはアルコールを含むものがありますので、使用しないようお客様にご注意ください。

※3 ぬれたあとは、乾いた布などで拭いて陰干しをしてください。ぬれたままご使用しますと色落ちする場合がありますのでご注意ください。

※4 洗剤は洗顔用の石鹸を少量使用する程度なら問題ありません。

強力な洗剤を用いますと、革の被膜や接着部分を傷めるおそれがありますので、中性洗剤などは使用しないようお客様にご説明ください。

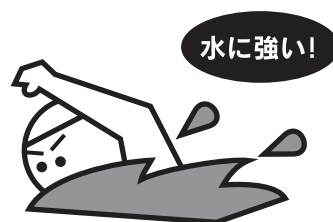
※ アルコールなどの薬品は絶対に使用しないようにご説明ください。

アクアフリー2種の優れた特性

一見、普通の革バンドでありながら、腕につけたまま泳ぐ事もできる「水に強い」画期的な革バンドです。



1. いつも清潔にしておくことができます。
2. カビの発生や臭いを防ぐことができます。
3. 暑い季節でも不快なべとつきなしに気持ちよくご使用いただけます。



セイコー独自の新技术(素材・構造及び加工処理)を採用したアクアフリーバンドは、以下の点で優れています。

セイコー独自の新技术(素材・構造及び加工処理)を採用したアクアフリーバンドは、以下の点で優れています。		
性能	吸水性	吸水率が小さい為、長時間「水」に浸してもべとつきが少ない。
	強度	1.型崩れしにくい。 2.強く引っ張っても切れる心配が少ない。 3.長時間水に浸しても剥がれる心配がない。
	色落ち	水や汗に浸しても、色が落ちたりタオルやシャツに色が付く心配が少ない。

②裏材について

■SEIKOの皮革バンドの裏材には、SEKマーク*を取得した抗菌防臭加工されたテグラン材を使用しています。(すべてのモデルがテグラン材を使用しているわけではありません。)

※SEKマーク (右図)

・繊維製品衛生加工協議会の基準をパスした製品のみに表示が許諾された、抗菌防臭加工の品質と安全性を保証する信頼のマークです。

マークが保証すること

1. 抗菌防臭効果
2. 効果の耐久性 (耐洗濯性)
3. 加工の安全性



③純正バンドと市販バンド

◎純正バンド

・カタログに記載されている全ての腕時計バンドはSEIKOの品質基準をクリアしたSEIKO専用の純正部品です。これらを**純正バンド**と呼びます。

また、鉄道時計やストップウォッチ・ポケットウォッチなどの提げ紐やチェーンも同様に、SEIKO専用の純正部品です。

・カタログには、全て純正部品コードを表記しています。

セイコーウォッチカタログ2003 Vol.1までは、一部の皮革バンドの商品に市販バンドコードを表記していましたが、2003 Vol.2より全て純正バンドコード表記に変更しました。

・販売店様が純正バンドをご注文いただく際には、純正バンドコードでご注文いただきますようお願いいたします。(純正バンド本体の裏側にSEIKO刻印及び純正バンドコードが刻印されています。)

・GS・IUおよび一部のLUKIAの純正バンドにメーカー希望小売価格を設定しています。これ以外の純正バンドは卸価格のみを設定しています。

◎市販バンド

・セイコーウォッチバンドカタログに掲載のバンドを総称して、**SEIKO 市販バンド**と呼びます。SEIKOの市販バンドは純正バンドと同様、SEIKOの品質基準をクリアしたものです。

・カタログには市販バンドコードを表記していませんので、販売店様が**SEIKO 市販バンド**をご注文いただく際には、セイコーウォッチバンドカタログに掲載の品番でご注文くださるようお願いいたします。

・価格は、標準小売価格を設定しています。

④皮革バンドご使用上の注意

・一般の皮革バンド(アクアフリーバンドを除く)は、水や汗、直射日光に弱く、色落ちや劣化の原因となります。

・水がかかった時や汗をかいた後は、すぐに乾いた布などで吸い取るように軽く拭いてください。

・直射日光のあたる場所に放置しないでください。

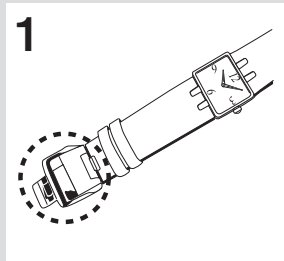
・色の薄いバンドは、汚れが目立ちやすいので、ご使用の際はご注意ください。

●リュゼのバンド付け替え方法について

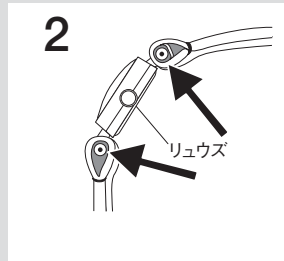
この商品は時計本体の他に付け替え用のバンドと、バンドを付け替えるための道具(チャームと兼用、以下チャーム)がセットになっています。

I. バンドのはずし方

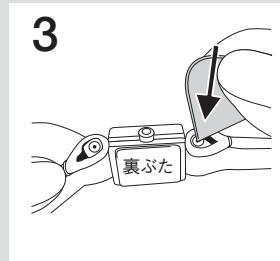
※付け替えしやすいようにバンドを留め具から外し、1のように伸ばした状態にします。



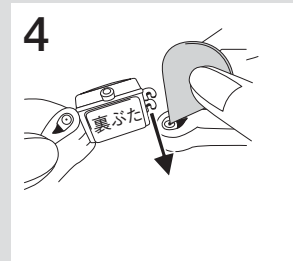
バンドの留め具はケースの下側(6時側)の位置です。



リュウズ側・側面から見て、バンドのケース寄りの方にそれぞれくぼみがあります。

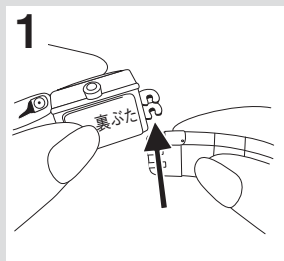


くぼみをチャームの先、または先端の細いもの先で押し込んでバンドを外します。

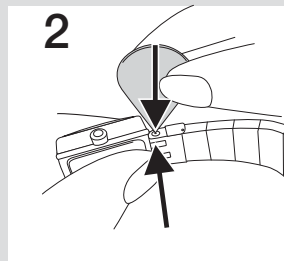


時計を片方の手で固定し、くぼみを押し込んだままの状態、バンドを裏ぶたの方向へ引いて外します。

II. バンドの付け方



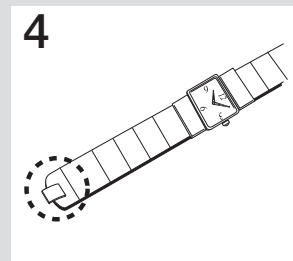
付け替え用のバンドを裏ぶた側から付ける位置へ軽く当てて押さえます。



チャームの先でくぼみを押し、押し込んだままの状態、バンドを押し入れます。



バンドがきちんと付いた状態です。
※バンドが確実にセットできたかどうか確認してください。



反対側も同様に付け替えます。バンドの留め具がケースの下側(6時側)の位置になるようにします。

※くぼみを押し込んだままの状態の時のみ、バンドの付け替えができます。

※バンドの留め具は必ずケースの下方(6時側)になるように(あるいはくぼみがリュウズ側になるように)取り付けてください。

⚠ 警告

小さな部品のお取り扱いについて

- ・チャームは外してある際に幼児が飲み込んだりしないよう、幼児の手の届かないところに保管してください。
- ・バンドの付け替えの際に爪や手などを傷つける恐れがありますので、ケガに注意して操作してください。

⚠ 注意

日常のお手入れ

- ・この時計はバンドを付け替えることができる構造になっております。ケースやバンドは肌着類と同様に直接肌に接しています。汚れたままにしておくとバンドの着脱部分がサビついて、着脱できなくなる原因となる場合があります。また衣類の袖口を汚したり、かぶれの原因になることがありますので、常に清潔にご使用ください。
- ・時計を外したときは、やわらかい布などで汗や水分をふき取り、汚れが付着したままにならないよう大切にお取り扱いください。